

エクソンモービル児童文化賞・エクソンモービル音楽賞 概要

エクソンモービル児童文化賞及びエクソンモービル音楽賞は、日本の児童文化、音楽文化の発展・向上に大きく貢献した個人または団体をたたえる目的で創設されました。毎年、児童文化賞、音楽賞邦楽部門、音楽賞洋楽部門本賞、音楽賞洋楽部門奨励賞の4賞につき、各々1個人または1団体が選ばれ、それぞれトロフィーと副賞賞金200万円が贈られます。

【エクソンモービル児童文化賞】

1966年に創設された児童文化賞は、今年で45回を数える歴史ある賞に発展しました。受賞者と受賞分野の多彩さがこの賞の特色であり、作家、学者、研究者、評論家、歌手、俳優、野草園長、子供新聞の編集発行、人形劇の祭典、ミュージカル主宰など、全国的に著名な活動からあまり知られていない地域の活動まで、児童文化の各種分野から幅広く受賞者が選ばれています。

【エクソンモービル音楽賞】

1971年に創設された音楽賞は、今年で40回目を迎えます。また、洋楽部門では1989年より、日本を代表する優れた若手音楽家を讃えるために奨励賞が設けられています。邦楽部門においては、これまでに19人の受賞者が重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されています。邦楽部門・洋楽部門を併せ持ち、単年度内の功績ではなくそれまでの実績全体に視点をいた選考を行っている点がこの賞の特色です。

選考方法

児童文化界、音楽界の有識者の方々に受賞候補者の推薦を依頼し、その結果を参考にして、各部門3名の選考委員により構成される選考委員会において審議の上、受賞者を決定しました。

選考委員 (敬称略、順不同)

【児童文化賞】

松居 直	児童文学者
近藤 康弘	こども番組プロデューサー
野上 暁	児童文化研究者

【音楽賞 洋楽部門】

関根 礼子	音楽評論家
中村 孝義	大阪音楽大学理事長・学長
諸石 幸生	音楽評論家

【音楽賞 邦楽部門】

榎本 由喜雄	財団法人沖永文化振興財団理事
徳丸 吉彦	聖徳大学教授、放送大学客員教授、 お茶の水女子大学名誉教授
塚田 博	前 浜松市音楽文化名誉顧問

なお、音楽賞邦楽部門選考委員であられた塚田博先生は、本年の選考委員会後の7月5日(月)にご永眠なさいました。今までの塚田先生のご協力及びご貢献に深く感謝申し上げますと共に、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。